

JAしまねびより 10

2018

October Vol.31

特集 島根のいいもの再発見!! 「海士町 ブドウ」 隠岐どうぜん地区本部



隠岐神社 (海士町)



島根には誇れる農産品がたーっくさん！
島根のいいものの再発見!!
 直撃・生産者インタビュー

東西に長く広がり、海も山もある自然環境豊かな島根県。島根には、胸を張って誇れる農産品が実は多種多様にあるんです。毎月、その農産品を紹介、生産者の生の声を聞いていきます！

【海士町 ブドウ】

10月は、隠岐どうぜん地区本部。海士町でブドウ栽培に取り組む、株式会社海士楽（あまらく）の山藤隆康さんにお話をお伺いしてきました。



お話をお伺いした、山藤隆康さん。

ブドウ栽培をはじめたきっかけを教えてください。

私は大阪府羽曳野市から農業をしに来ています。羽曳野市はデラウエアの大規模な産地だったので、周囲にはブドウ畑がたくさんありました。ワインが大好きだったこともあり、ブドウがどのように育ち、実が房っていくのか、大阪在住時に趣味としてブドウを栽培し鑑賞していました。海士町に2009年に最初のブドウを定植した後、生業（なりわい）として本格的にブドウの生産に取り組み、生食用の販売をはじめました。それと同時に、いつか自分のブドウでワインを作ってみたくてという夢を実現したくなりました。

ブドウの品種は何ですか？

海士町では自家用に育てている方はいますが、農家として販売まで行っている方はいませんでした。そこで特定の品種ではなく、色々なブドウを味わってもらおうと考えま

した。当初は約30種類のブドウを植えていました。土地に全く合わないもの、土地には馴染むけれどたくさん実が付かないものなど多種多様であり、品種を変えながら島の環境に合うブドウを探っていました。現在は約20品種を植えています。今では台木に特定の品種を接ぎ木して、苗木作りもできるようになりました。シャインマスカットや巨



様々な品種のぶどうを時期を変えて出荷。様々な味を楽しめるのも◎。(ブラックビート、珍しい!)

峰、紅富士、マスカットペリー、ブラックビート、パッファローなど、計60アールのほ場に定植しています。

栽培について大変なこと などありますか？

栽培はハウスではなく露地で育っています。四方が海に囲まれた海士町では、5月の芽立ちの時期に強い風が吹くことがあります。強風で芽が飛んでしまわないよう防風対策には特に注意しています。今年で70歳になりますが、木の根元を中心に行う雑草の刈払いは体力を要します。また、実がなるとカラスが食べに来ることがあります。日頃からこまめに巡回し直接威嚇



ブドウの話をする時の優しく、楽しそうな山藤さんの表情がとても印象的でした。

するなどして自分の存在を覚えさせ、カラスが近づかないようにしています。露地栽培なので、実が付いて摘粒した後は袋をかけるなど一定の作業が必要ですが、ハウスよりも甘さの乗り、色の濃さなど良い印象があります。JAや産直市に出荷しています。島でブドウが楽しまれていることを大変嬉しく思います。苦労して育てたブドウに花が咲き、その匂いを嗅いだ時には、作っている喜びが込み上げてきます。

ワイン用の品種も栽培していると聞きましたが？

5年前頃からピノ・ノワールやカベルネ・ソーヴィニオン、リースリング等欧州系品

種を植えてきました。また、島根県が開発した生食用ブドウ品種の出雲クイーンも栽培しています。渋みや酸味が少ないですが甘みは強く、独特の香りがします。神紅（しんく）は、まだ苗が一般の農家の手に入りませんが、ぜひ栽培したい品種です。シャインマスカット系の出荷基準18度を上回る20度以上の糖度でマスカット系の強い香りがあります。どちらも今後の島根を代表する品種と確信しているため、他県にはない島根のオリジナル品種でワインを作りたいと考えています。ブドウの木は一般的に3年で25%の実がなり、5年で成木になります。今年、最初に植えた木に実がようやく付きました。

今後の展望や抱負を聞かせてください。

町やJAさんの全面的な協力により、長年の夢であったワインの醸造に取り組める段階にきています。町が「海士ワイン特区」に認定されたことで、小さな醸造所を整備する予定となっており、来年度に醸造をはじめたいと考えています。まずは島根の新しいオ



取材班も畑で摘みたてのブドウをよばれました。濃厚な甘さ、それでいて爽やか!びっくりでした。

リジナル品種でワイン第1号を作りたいです。島の生活ではこれまで、ブドウのイメージが無かったと思います。今では産直市のほか給食センターに出荷し子供達に食べてもらっています。島で美味しいブドウやワインが身近になることを願っています。加えて私のノウハウを惜しみなく伝えていき、ブドウ作りの仲間をどんどん増やしていきたいです。



島でのブドウ生産に始まりワイナリーへと。山藤さんのブドウへの探究心は尽きません。

ブドウ 一口メモ

「海士ワイン特区」は平成29年度に国が認定。酒税法ではワインを製造・販売できるのは、年6kl以上作らなければならないが、特区の認定により2klに緩和される。これにより比較的小規模でもワインの製造を行うことができる。海士町の基幹産業は畜産業を含む農業と水産業だが、特産品は水産物がメインで農産物は極めて少ない。高齢化や後継者不足による遊休農地の拡大を防ぐため、ブドウを使った新規就農者の確保、新たな特産品による地域振興の拡大にチャレンジしている。



／ チャレンジ ／ 「JA自己改革」



「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標に、JA自らが進める改革のことをJA自己改革と言います。JAしまね農業戦略実践3カ年営農計画の取り組みはもとより、食農教育や社会貢献活動等を通じて、地域活性化と住みよい地域社会づくりをめざします。

JAしまね畜産事業の新たな取り組み

JAしまね農業戦略として取り組んでいる、畜産総合センター（キャトルステーション・繁殖センター機能による農家支援と担い手育成・研修機能等）は、まず、やすぎ地区本部、雲南地区本部で開設しました。平成30年度には石見銀山地区本部、島根おち地区本部の和牛繁殖事業振興を目的に、母牛・子牛預り牛舎の整備を行い「県央地区畜産総合センター」を開設しました。隠岐地区においても4市場のうち2市場の移転整備を行い、各関係機関のご協力のもと、平成30年7月に新施設で家畜市場を開設しました。



県央地区畜産総合センター

①繁殖母牛預り牛舎の整備

妊娠中の母牛の預かりを基本とし、農繁期や冬期間の預かり（集落放牧等）、不受胎牛の預かり、高齢飼養農家からの預かりによる飼育管理支援を行なっています。

定期的に妊娠牛を預ける事により、牛舎の増築等のための土地・資金等を心配することなく余剰の労力を増頭につなげることや、入院等により飼養しにくい環境下でも、繁殖雌牛をセンターへ預けることにより、継続飼養や後継者への経営移譲が行いやすい環境を生み出します。

②和牛子牛預り牛舎の新設

子牛を預けることより、農家の牛舎空スペースの利用や余剰労力で母牛の増頭を勧め、管内生産頭数の拡大及び生産者の所得増大に寄与します。

③家畜市場の移転整備

隠岐の島町の西郷家畜市場と西ノ島町の浦郷家畜市場の移転整備について、隠岐の島町や西ノ島町及び県隠岐支庁のご支援により、平成30年6月に完成しました。

隠岐地区全体の和牛繁殖事業の更なる発展に寄与できるよう家畜市場機能と畜産振興機能が発揮できる施設として運営していきます。



隠岐の島町の西郷家畜市場



西ノ島町の浦郷家畜市場



JAしまね農業振興支援事業 活用事例のご紹介

JAしまねでは、経営拡大に向けた基盤整備や機械等の更新対策、県域でのモデル事業を実施するために、「JAしまね農業振興支援事業」に取り組んでいます。

常松種苗株式会社

代表取締役 常松 信光

斐川町の常松種苗株式会社は、平成23年7月に法人設立をしました。もともと両親が野菜苗やたまねぎの専業農家でしたが、高齢となってきたため、町内の会社を退職し、家業を継ぐことにしました。繁忙期には臨時雇用にて対応していましたが、期間雇用では労働力の確保が不安定のため、周年雇用をするため法人化に踏み切りました。



現在、野菜苗ハウス8棟、たまねぎ3.8ヘクタールを経営していますが、今後は農地中間管理事業を活用し、農地の集積・集約化をすすめ、たまねぎの面積を拡大する予定です。

これまで、JA農業振興支援事業や県・出雲市の補助事業を活用し、たまねぎの播種から収穫・選別までの機械導入を行い、作業の約9割が機械化体系で出来るようになりました。今後は、収穫期間をより短縮し、品質の良いたまねぎができるようさらに機械化をすすめていく計画をしていますので、JA農業振興支援事業（園芸推進5品目の拡大支援）の継続的な支援をお願いいたします。



斐川町内では、約12ヘクタールのたまねぎ栽培が行われていますが、全盛期は50ヘクタールを超える面積がありました。高齢化で廃業が進む中、斐川たまねぎを維持・拡大していくためにも、地域の主導的立場に立って、園芸品目による所得の向上に向けて取り組んでいきます。

斐川町内では、約12ヘクタールのたまねぎ栽培が行われていますが、全盛期は50ヘクタールを超える面積がありました。高齢化で廃業が進む中、斐川たまねぎを維持・拡大していくためにも、地域の主導的立場に立って、園芸品目による所得の向上に向けて取り組んでいきます。

斐川地区本部長より 激励の言葉

玉葱産地復興をめざし、機械化や栽培技術の改善により、コスト削減に努力され、精力的に面積拡大を図っておられます。地域のトップリーダーとして、今後の活躍を期待いたします。

理事会情報（8月22日開催）

協議事項

- ①平成31年度島根県農業政策および予算に関する要望書について
 - ②平成30年産共同計算対象米穀の概算金支出対応について
 - ③平成30年産島根米の諸区分ならびに諸格差単価の設定について
 - ④平成30年産島根米の仮単価の設定について
 - ⑤平成30年産飼料用米の概算金単価の設定について
 - ⑥平成30年産備蓄米の概算金単価の設定について
 - ⑦葬祭会館利用料の変更および葬祭会館利用管理規程の一部改正について
 - ⑧組合と理事との取引（契約）の承認について
 - ⑨購買未収金遅延料の減免について
 - ⑩不良債権の処理に関する方針の一部改正について
- （紙幅の関係上、報告事項は省略いたします）



雲南

奥出雲町で品評会 質の高いブドウ集まる

奥出雲町ぶどう生産者組合は9月7日、島根県奥出雲町のJALまね雲南地区本部野菜予冷所で品評会を行いました。県や町、JAが集まり出品された巨峰やピオーネ、シャインマスカットを審査しました。

粒の色や大きさ、食味などの項目で評価し、各部の最優秀者は来年2月、同組合の定期総会で表彰されます。JAの田中職員は「今年は予想以上に糖度があがっており、20度近いブドウが多く出品された。ぜひ味わってみてほしい」と話します。

近隣の直売所「よこただん市場」「玉峰山荘特産市」「仁多特産市」などのほか、阪急オアシスに出荷しており、シャインマスカットは10月中旬ごろまで店頭に並び予定です。



結果

有核巨峰の部：梅木 幸美
無核ピオーネの部：糸原 詩郎
シャインマスカットの部：藤原 章

隠岐

地域住民による活気ある 地域づくりを紹介

隠岐の島町飯田地区にて、地域に居住する高齢者を中心に活気ある地域づくり、絆づくりの一環として河川敷を緑化して地区民の憩いの場を作ろうと、芝桜の苗の定植が行われました。この活動は芝桜の苗づくりから始まり、地元にある河川敷に防草シートを張った上で芝桜の苗約2,000本を定植しました。来年の春には花を咲かせ、地域住民の賑やかな声が聞こえて来ることでしょう。この活動支援として、JALまねの地域貢献活動・地域活性化支援事業を利用し助成をさせて頂きました。



くにびき

8月31日は野菜の日！ 宍道支店でトラック市開催！

JALまね宍道支店と産直出荷者協議会宍道支部は、地産地消を促進するため、8月31日同支店の駐車場で、軽トラックの荷台を使って販売する「トラック市」を開催しました。

トラック市は、来店者が多い年金感謝デーにあわせて地元農産物の消費とPRに繋げてもらおうと毎回開催。今年は8(や)3(さ)1(い)の語呂あわせから野菜の日に制定されている、8月31日に開催しました。

当日は、同支部の会員8名がトマト、ナス、オクラなど旬の野菜や農産加工品を持ち寄り、軽トラックの荷台や長机に陳列。朝9時の開始とともに、駐車場は多くの人で賑いました。来場者は会員から、旬の農産物のおいしさや調理方法を聞きながら買い物を楽しみました。

同支部の勝部健さん(72)は「定期的に葉物野菜が少なかったが、夏野菜を中心に良いものが並んだ。8月31日の開催は初めてだったが、たくさんの方が来てくれてよかった」と笑顔で語りました。



やすぎ

二十世紀梨品評会開催

やすぎ梨生産部会は9月4日、やすぎ生産センターで「二十世紀梨」の品評会を開催しました。「二十世紀梨」の品質向上をはかり、市場における安来産「二十世紀梨」の名声を高めることを目的に毎年開催されています。審査の結果、生産者が出品した15点の中から、最優秀賞の安来市長賞に島田毅さんの梨が選ばれました。

品評会は果形や玉ぞろい、病害虫や傷害の有無などの外観を比較する一次審査と、大きさや硬度、糖度などを測り付点する二次審査で構成され、県や市の関係者らが審査に臨みました。今年の夏は雨が少なく猛暑が続きましたが、生産者の日々の努力により、糖度が最高12.7度の梨も出品されるなど全体的に非常に甘く、大玉でなめらかな肉質に仕上がりました。受賞結果は次の通りです。



最優秀賞 島田 毅
優秀賞 島田 和幸
優秀賞 岩崎 幸男
優秀賞 永田 幹夫
優良賞 金山 浩美

斐川

中学生がJAで職場体験

9月12日から3日間、出雲市立斐川西中学校3年生が取り組む「職場体験学習」の一環で、グリーンセンターとデイサービスセンターつつじ園で生徒たちによる体験実習が行われました。自ら体験することで職業観や勤労観を育て、自己の可能性や適性について理解を深めるために毎年行われています。各職場で様々な仕事を体験し、人との接し方やマナーを学んだ皆さんは、「最初は緊張して

いたけど、少しずつでもコミュニケーションをとっていくと自然に笑顔で話ができるようになった」「普段は机に座っている時間が多く、一日中立って働くのはとても大変なこと」と振り返り、担当課の職員は「3日間、生徒たちは一所懸命働いてくれた。今回体験したことをこれからの生活の中で生かして欲しい」と期待を込めました。



利用者と一緒にゲームを楽しむ様子



包んだ花束に値札を貼る様子

隠岐 どうぜん

帝祭り開催

西ノ島町別府で9月8日、後醍醐天皇を偲んで2年毎にとりおこなわれる秋祭り「帝祭り」が開催されました。

当日は朝からの小雨模様で、毎回行われる黒木御所周辺を時代衣装をまとうて行列する最大イベント「御所車行列」は、残念ながら場所を室内に移し行われましたが、後醍醐天皇サミットと銘打った講演会・餅まき・島前高校生徒の飛入りダンスや各種団体による出店があり、催しを盛り上げようとの熱気に溢れていました。当地区本部も出店し、島根和牛肉・産直寿司・地元産のブドウと梨・JA農産加工場の赤飯などを取りそろえ販売を行いました。沢山の人が訪れ、あっという間に完売するものもありました。

祭りの締めくくりには、1,200発の花火が別府湾の台船から打ち上げられ、天皇御在所の黒木御所を明るく照らし出しました。



石見銀山

つぼみくらぶが野菜収穫体験

JAしまね石見銀山女性部のフレッシュミズ部会「つぼみくらぶ」が、野菜収穫体験を行いました。

12名の会員が参加し、大田市三瓶町にある同部会員の廣本恵里子さんの畑で、ポップとうもろこしや枝豆、なす、かぼちゃを収穫しました。

会員は、「新鮮な野菜が収穫できてよかった。家で食べるのが楽しみ」と語りました。

「つぼみくらぶ」は、子育て世代の女性たちが、自分たちに関心のある事柄を中心に活動内容を組み立て、月1回のペースでJAに集まっています。子供連れの部員も多く、みんなでお世話をしながらかし楽しく活動しています。



野菜の収穫体験を楽しんだつぼみくらぶ部員

出雲

教育文化セミナー開催 女性部員、JA役職員らが参加

JAしまね出雲地区本部は9月6日、同地区本部で教育文化セミナーを開きました。女性部員、JA役職員ら約80人が参加。JA自己改革の仕上げの年を迎え、改めて教育文化活動の重要性を確認しました。

セミナーでは、家の光協会の関口聡常務が農協改革の動きについて情勢を報告し、JA・農業・自己改革についての理解促進のため、家の光記事の活用を呼びかけました。

また、日本農業新聞の細谷章論説委員が農政の行方とJA自己改革について講演。農政改革の先に想定される農業、JAへの影響を話し、今後産地が生き残っていくために必要な技術、労働力などについて説明するとともに、自己改革の重要性を訴えました。

細谷論説委員は「自己改革は、やっているということを見ている皆様に見ていただく必要がある。日本農業新聞を活用し、情報交換をしていただきたい」と話しました。



講演をする細谷論説委員

西いわみ

榊生産組合設立30周年を祝う

鹿足郡津和野町商人地域を中心に、日本古来の神事等で使用するサカキを生産、出荷する商人榊生産組合（組合長田中幸一）は、8月25日に30周年を祝う記念大会を同町枕瀬の集会施設プラサ枕瀬で開きました。

関係機関や生産者、市場関係者ら約60名が出席した大会では、来賓の下森博之町長が「人口減少の中で中山間地域の活性化が課題となっている中、集落一体で知恵を出し合い取り組んでこられたことが先進事例となる。大変ありがたい」と祝辞を述べたほか、JAしまね竹下正幸組合長が「組合がこの先40年、50年と続き、未永く消費者に商人榊ブランドを届けられる事を期待する」と述べ30周年を祝いました。

商人榊生産組合は、新規就農者を含む生産者30名が約10ヘクタールの榊園から、県内市場を中心に広島市場や産直市などに出荷しています。

田中組合長は「今年度も新規の若い組合員が増える。まだまだ伸びしろはあると実感している」と意気込みを語りました。



本店

Bリーグアーリーカップ西日本 JAブース大盛況！

9月8日に松江市総合体育館で開催されたバスケットボール「Bリーグアーリーカップ西日本大会」へブースを出店し、島根県産のシャインマスカットと二十世紀梨を販売しました。

中国・四国・九州から6チームが出場する本大会には、県外からもたくさんのブースター（Bリーグにおけるファンの呼称）が来場されるとあって、当JAもはりきって島根の旬の味覚を取り揃えました。特に、シャインマスカットを小分けにした「シャインマスカットカップ」は、試合を観戦しながら摘まめることから大好評！そのおいしさや手軽さが口コミで拡がり、中には観戦中に1房食べきってしまったブースターも。会場では試食も行い、島根県の旬の味覚を県内外へPR！九州からお越しのブースターさんから「島根で梨やマスカットを作っていることを初めて知った。とてもおいしい」とのコメントをいただくなど、皆様に喜んでいただきました。



島根おおち

山口市へ日帰り旅行

JAしまね島根おおち地区本部では9月20日、山口県山口市の山口きらら博記念公園で開催されている「山口ゆめ花博」と国宝五重塔のある「瑠璃光寺」への日帰り旅行を開催しました。

当日はあいにくの空模様となりましたが、午前中は「山口ゆめ花博」を見学しました。近隣で開催されていることもあり、行ってみたいと思っていたがなかなか行く機会がなく、今回の旅行はちょうどよかったとの声もあり、園内は色とりどりの花々にあふれ、心癒される空間でした。昼食の後は、国宝五重塔のある瑠璃光寺に向かい、庭園と五重塔のある景色に花博とは違った楽しみ方をすることができました。

11月13、14日には年金友の会「寿ロード」を計画しており、今年は博多で歌舞伎の鑑賞を楽しんでいただければと思います。皆様のご参加をお待ちしております。



いわみ中央

バケツでお米作り ～園児が稲刈り体験～

JAしまねいわみ中央地区本部は、9月7日に社会福祉法人日本聖公会浜田福祉聖バルナバ保育園で、バケツ稲の稲刈りを行いました。年長児18名は、5月の田植えから大切に育ててきた稲を、営農部佐々木清繁次長の指導のもと丁寧に刈り取っていきました。この苗は、春に佐々木次長の指導で植え付け作業を行ったもので、園児らが大切に管理してきたものです。

天野明美園長は「当園は、お米一粒の大切さを子供たちに教えている。このお米作りの体験をとおして、食の大切さを養っていきたい」と話されました。

収穫した稲は、園で10日ほど「はで干し」した後、精米され、園児らが作った梅干しを使っておにぎりを作る予定です。



タテのカギ

- ① 武士が腰に差す物
- ③ パリやベルリン、バンコク、北京など
- ⑥ 8は2の4——です
- ⑦ 英語ではゼブラ。草食動物です
- ⑧ 月が出ていなくて真っ暗です
- ⑩ タンスなどに加工する軽い木材
- ⑫ 家族やごく近い人のこと
- ⑭ 遠くて近きは男女の——
- ⑯ モミジとも呼ばれる木
- ⑰ 10月は神無月、11月は——
- ⑱ ネタやシャリなどから作ります
- ⑳ このぶんしょうにはつかわれていません
- ㉑ ヒトコブ——やフタコブ——は砂漠で使われる動物

ヨコのカギ

- ① アフリカの川や池にすむ動物。体も口も大きい
- ② そろそろスタッドレス——に交換しようかな
- ③ まるで取り付く——もない様子だったよ
- ④ ——栽培はオーガニック農法とも呼ばれます
- ⑤ 鳥籠の中に取り付ける棒
- ⑦ 火事に備えて設置する物
- ⑨ 音はこれで聞き取ります
- ⑪ 落語を客に聞かせる職業
- ⑬ 頭をひねって絞り出します
- ⑮ 徳川将軍家は三つ葉葵（あおい）
- ⑰ 机のこと。ライティング——
- ⑲ 道が十字に交差している所
- ㉑ 漢字では羊の歯と書く植物

二重マスの文字を A ~ E の順に並べて
できる言葉は何でしょうか？

1	6		11	14	18	22
		A				
2		8		15		B
		9	12		19	
	7			E	16	
3			13			23
4			10		17	20
5					21	C

答え

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

応募要項

- 応募方法 ハガキに、答え、住所、氏名、年齢、電話番号、本誌に関するご意見・ご感想を記入して、下記宛先にお送りください。
- 賞品 正解者の中から抽選で40名（JAしまね全体）の方に「JA商品券」をお贈りします。
- 当選者発表 賞品の発送をもってかえさせていただきます。
- 宛先・締切 〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町151
JAしまね 隠岐地区本部 「クイズ」係
平成30年11月5日（月）（当日消印有効）

◆先月号の答え◆ 「クリヒロイ」

キ	リ	ギ	リス	ホ
シ	シ	ヨ	キ	ソク
ユ		ウ	シ	ナシ
	ヤ	ジ	ロ	バエ
ア	マ	ミ	ト	バ
ヒ	ト	ミ	ナ	ルト
	ウ	ウ	ム	イン

・お預かりした個人情報、プレゼントの抽選・発送以外の目的で利用することはございません。

けんこうさんぽ 健康散歩 JA島根厚生連

インフルエンザ対策

インフルエンザと診断されたら、処方された抗インフルエンザウイルス薬の服用と共に、脱水症状を防ぐ為の水分補給と、十分な栄養をとってください。
一般的には、熱が下がってもインフルエンザの発症から5日間程度は、鼻やのどからウイルスを排出するとされていることから、他の人への感染を防ぐ為に接触は控える必要があります。ただし、職場や学校などへの復帰については、それぞれ規定が異なりますので、ご確認ください。皆さん、インフルエンザにご注意を!!

- ### 正しい手洗い方法
1. 時計や指輪を外し、流水で軽く洗う。せっけんをよく泡立てて、手のひら、指の腹側をこするように洗う。
 2. 手の甲、指の背側をこするように洗う。
 3. 指と指の間、指の付け根を洗う。
 4. 親指と親指の付け根を反対側の手で握り、ぐるぐると回すように洗う。（両方）
 5. 手の平に反対側の指先を爪を立てるようにして洗う。（両方）
 6. 手首を反対側の手でつかんでぐるぐると回すように洗う。（両方）
 7. 流水でせっけんをきれいに洗い流し、清潔なタオルやペーパーで水分をしっかりと拭き取る。

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年大流行したり、命に関わる合併症を引き起こしたりするおそれがあります。インフルエンザの流行は、毎年11月頃からは始まり、1月〜2月にかけてピークを迎え、3月頃迄続きます。ですから、今から十分な注意が必要で、感染を防いだり、重症化をさせない為にしっかりとした対策が大切です。
インフルエンザにかかりにくくする為には、インフルエンザワクチンを接種することが重要です。上記のように1月〜2月にかけての流行が多いため、11月〜遅くとも12月中旬迄には接種することが望ましいと考えられています。
インフルエンザの感染対策は、飛沫感染対策として、咳エチケット、マスクの着用、うがい、人混みを避けることなどが大切です。また、接触感染対策としては、流水とせっけんによる手洗いの徹底が重要です。正しい方法で手洗いを行うことで、手に付いたウイルスを洗い流すことができ、予防効果が高くなります。

営農技術情報

最近、栽培中の秋野菜が害虫に食害されている話を野菜生産者より多数聞いています。農薬を使わずに栽培出来れば良いのですが、無農薬での栽培は管理が難しい面もあり手間がかかりますので、農薬を利用しての害虫駆除が必要となってきます。農薬は正しい使い方を遵守し使用する分にはなにも問題はありませので、今月の営農技術情報は、農薬の適切な使用について、農薬のラベルに記載されている使用基準を中心にお繋ぎし、適切な害虫駆除対策についてご案内します。

生産量の少ない作物への農薬適用を拡大する一環として、農作物のグループ化がなされた。「野菜類」に適用のあるものは、様々な野菜やハーブに用いることができるが、成熟した種実を食べる「豆類」「いも類」、ソバやトウモロコシなどの「雑穀類」は登録上「野菜」ではないので注意が必要。

当該農薬の使用が認められている作物の種類名。「トマト」と「ミニトマト」、「ワケギ」と「アサツキ」など同じような作物でも使える農薬が異なるので注意が必要。

防除できる病害虫の種類名ないしは雑草名。

薄める倍率。これ以外の希釈倍率での使用は一切認められていない。JA経済課に希釈倍率の早見表があるのでご活用ください。

10アールあたり、どのくらいの農薬の散布が認められているのかという分量を示しています。

最終使用后、収穫までどのくらいの日数を経なければいけないかなど、使用できる期間を示しています。「前日」の場合は24時間以上経なければいけません。

野菜類では播種から収穫が終わるまで、果樹では収穫から収穫までの間に許容される、同一成分を含む農薬の総使用回数が表示されています。成分と作物の種類別に総使用回数が決めています。

【例：〇〇農薬のラベル】

作物名	野菜類 トマト
適用病害虫	アブラムシ類 ハダニ類
希釈倍率(倍)	1,000 1,000~1,500
使用量	200~300g/10a
使用時期	収穫7日前
使用回数	3回
使用方法	散布

☆農薬の使用についてご不明な点がございましたら、隠岐地区本部経済課までお問い合わせください。

平成30年産米に対する出荷助成の実施について



隠岐地区本部では、平成29年度JAしまねの業績に伴って平成30年度業績還元（組合員への還元）として、平成30年産米に対する出荷助成をすることといたします。つきましては、保有米を多くお持ちの方などおられましたら、JAへ出荷して頂ければと思います。

〔助成要件〕

次の要件をすべて具備したものに對し助成いたします。

①平成30年産米(加工用米を除きます)でJAしまねへ出荷されたもの

②隠岐地区本部管内生産者

③平成30年12月14日(金)までに隠岐地区本部にて米検査を受検したもの

〔助成額〕

1袋(30kg入り)あたり250円を助成いたします。なお、フレコン出荷をされた場合は、フレコン1袋(1,080kg入り)あたり9,000円を助成いたします。

〔助成金支払〕

平成30年12月25日(火)に助成対象者へ支払います。

(報告/企画総務課)

平成30年産米集荷状況（平成30年10月4日現在）

品 種 名	予約数 (袋)	出荷数 (袋)	等 級			1等米 比 率	集荷率
			1等	2等	3等		
コシヒカリ合計	8,775	5,376	4,850	501	25	90.2%	61.3%
コシヒカリ（通常）		3,827	3,301	501	25	86.3%	
ハデ干し		54	54			100.0%	
一般藻塩米		622	622			100.0%	
特選藻塩米		873	873			100.0%	
きぬむすめ合計	4,945	0	0	0	0		0.0%
きぬむすめ		0					
非共計きぬ藻塩米		0					
つや姫	1,140	765	585	180		76.5%	67.1%
うるち米計（抜粋）	14,860	6,141	5,435	681	25	88.5%	41.3%
五百万石	630	440		440		0.0%	69.8%
神の舞	70	55	55			100.0%	78.6%
山田錦	282	0					0.0%
もち米	55	0					0.0%
合 計	15,897	6,636	5,490	1,121	25	82.7%	41.7%

平成30年産米集荷状況

J
A
N
E
W
S

30年産米の集荷は9月6日の初検査後、例年通り概ね週3日の日程で行っています。

今年登熟期の気温が高めだったことから乳白粒の発生を懸念していましたが、隠岐地区本部管内においては現在のところ乳白粒が少ない状況で推移をしています。

一方、収量については全体的に少ない状況であると考えており、未成熟粒による整粒歩合の低下が主な要因ではないかと考えています。また、刈り取り時期は9月上旬にピークを迎えると予想していましたが、9月に入り降雨も増え、刈り遅れのほ場も散見されます。10月4日時点で予約出荷数に対し集荷率41.7%となっており、これから「きぬむすめ」品種が多く出荷されるものと思われそうですが、現在のところ全体的に品質は良く、うるち米の1等米比率も88.5%と高めに推移しています。



（報告／経済課）

J A しまね新入職員による農業実習研修を実施



J A しまねでは平成30年4月に入組した新入職員に対し、より早くJ A の仕事を覚え、皆様のご期待に添える様、「J A 島根ユースカレッジ」として平成30年4月から平成31年1月までの研修期間を設け、様々な研修を実施していま

す。その1つとして、J Aらしい職員となる様、農業実習研修を設けており、実際に地元の農家組合員の生産現場に入らせて頂く中で、農業生産について勉強をすることとしています。隠岐地区本部からも2名の新人職員が実施し、管内の野菜生産農家と水稻生産農家にて約4日間お手伝いをさせて頂きながら勉強を致しました。

短い期間での農業実習であり、農業生産について全て理解できたとは思いませんが、今後とも地域組合員の皆様との係わりを大切に仕事に取り組んで参りますので、引き続きのご指導をよろしくお願いいたします。

（報告／企画総務課）

カーブミラーを贈呈

平成30年9月26日、隠岐の島町役場応接室において、JAしまね隠岐地区本部より隠岐の島町へ、交通安全事故防止機器（道路反射鏡）24本を寄贈いたしました。

今回の寄贈は、JAしまねならびに全国共済農業協同組合連合会島根県本部・一般財団法人島根県農協共済福祉事業団の連名により、秋の交通安全週間で交通事故防止活動のお役に立てていただければと寄贈したものです。

贈呈に際して金阪副本部長より「交通事故防止活動において人命保護と被害の軽減にお役立て下さい。」と趣意書が隠岐の島町池田高世偉町長へ手渡され、池田町長より「大変ありがとうございます。毎年たくさん寄贈していただき助かっています。」とお礼の言葉をいただきました。



（報告／共済課）

日本農業新聞大会を開催



9月15日、隠岐地区本部はJAグループの総合情報誌である日本農業新聞について理解を深めることを目的に、日本農業新聞大会を開催しました。日本農業新聞は、農家の皆様の立場に立って農政・経済・社会の動向をはじめ、流通・営農・生活情報など多分野に渡り情報を豊富に提

供してくれる身近な情報源であり、地域の営農や生活・文化を守るための農家組合員とJAとの情報共有が図れる一つの媒体であると大会を通じ改めて認識したところでです。

大会の中で日本農業新聞の業務局長 田宮和史郎氏に「安部農政改革と農協改革の行方」という演題で講演をいただき、改めて農業を取り巻く環境は変動しており、JAに対して国が求める課題、特に「農業所得の増大」「農業生産の拡大」「地域貢献」を更に進めていく必要があることを認識したところで

（報告／企画総務課）

お便りコーナー

読者の皆様のご意見・ご感想をご紹介します

・9月号の表紙で隠岐汽船、ローソク島とてもうれしくなります。今年は栗が全然無いようです。栗拾いができるかな？健康散歩も参考になりました。（有木・Mさん）

・各地区で色々な活動をされているので感心して見ております。これからの活躍に期待しています。（大久・Sさん）

・隠岐藻塩米の生産苦労が分かりました。よくかみしめて食べます。（上西・Hさん）

・おさいふカードは持っていますが、使ったことがありません。内容がはつきりわかりません。（原田・Mさん）

隠岐地区本部からの回答

・おさいふカードのことがあまりご周知できていないのご指摘でございますので、次月号の広報誌の中で改めて詳しくご案内いたします。

【お便り募集中】
本誌「クロスワードパズル」コーナーの応募要項をご覧ください。
本誌「JAしまねびより」またJAに対するご意見・ご感想をぜひお聞かせください。

たくさんのお便りお待ちしております

JA共済

アンパンマン ANPANMAN CARAVAN 交通安全キャラバン

アンパンマンと
歌って、踊って
交通ルールを
学ぼう!



オリジナルステージカーは赤・黄・青・緑
どの色に会えるかは、お楽しみ!!



※トラック画像はイメージです。

お楽しみ♪
アンパンマン
©やなせたかし/フレイム&TMS-NTV

※お子さまの記念撮影以外でのカメラやビデオの撮影はご遠慮願います。※個人によるトラブルや事故については、主催者は責任を負いかねます。※交通事情等により中止になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

日時 平成30年12月2日(日) 開演10:30～ (開場9:30)

場所 隠岐の島町総合体育館

島根県隠岐郡隠岐の島町栄町1437

観覧無料
チケット制
主催:JAしまね 問合せ:電話 08512-2-1132 (隠岐地区本部 金融共済部 渉外課)

※観覧ご希望の方は、所定の応募用紙でお申し込みください。応募多数の場合は抽選とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

☆内容等に関しましては、変更となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。



サトイモ

の収穫と 上手な貯蔵のコツ

板木技術士事務所 ● 板木利隆

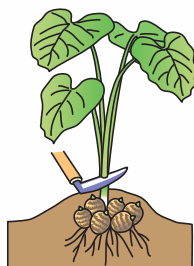
サトイモの主成分はでんぷん類、このでんぷんは加熱すると糊化し、消化吸収しやすくなります。カリウムは芋類の中では最も多く、高血圧予防に効果的です。

タンパク質、ビタミンB群、Cなどを多く含み、栄養価が高いのが特徴、しかも食物繊維も豊富で水分に富み、意外に低カロリー、体重が気になる方にもお勧めです。

秋になって盛んに育ち、芋が肥大したサトイモは、晩秋に入ると育ちが止まり、収穫期を迎えます。

収穫適期の目安は、葉の緑が黄化し始め、葉が少し垂れ気味になった頃です。サトイモは寒さに弱く、1～2回霜を受けただけで葉は容易に枯れてしまいますが、この頃が収穫の限界です。掘り遅れると品質を損ねるだけでなく、貯蔵した場合の故障芋が多くなってしまいます。

収穫するに先立って、図のようにあらかじめ葉身を地上5～6cmの高さで、鎌で刈り取っておきます。芋や根は強大に太っているので、株の側方に大きくくわを打ち込んで、子芋や孫芋を外さないよう注意して、株全体を丁寧に掘り上げます。



あらかじめ葉と葉柄を切り取り、作業しやすくしておく

すぐに利用する場合は、その場で全ての子芋、孫芋、ひ孫芋を親芋から取り外します。多数の株を効率よく取り外すには、外側の外れやすい子芋を取り除き、残った株を手で持ち上げて、大きなビール瓶などで横から強く打つと、案外傷つかずによく外れ落ちます。



芋が外れたり傷ついたりしないよう注意して掘り上げる

貯蔵する場合には、子芋、孫芋などを外さないよう、特に注意して取り扱しましょう。外れてしまうとその傷口から傷み始めるので、貯蔵中の故障株が多くなり

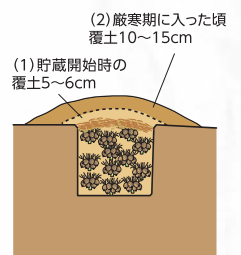
ます。

貯蔵する場所は排水の良い畑を選んで、幅40～50cm、深さ60cmぐらいの貯蔵穴を設けます。そして掘り起こした株を丁寧に運び、地上部の切り口を下方に向けて丁寧に積み重ね詰め込みます。反対に詰めると子芋が離れやすく、傷口から腐敗する芋が多くなります。

貯蔵穴を全部詰め終わったならその上に麦わら、稲わら（カヤが得られれば最高）などで覆い、5～6cm覆土しておきます。さらに厳寒期に入った頃に10～15cmの覆土を追加して寒さから守ります。



切り口を下に向けて詰め込む



(1) 貯蔵開始時の覆土5～6cm

(2) 厳寒期に入った頃覆土10～15cm

JAしまね組合員様限定 足立美術館 優待プラン

入館料金(大人1名様)

通常 2,300円 → **1,500円** (税込)

特別割引券をご用意しております。

ご希望の方は最寄りのJA旅行センター又は県内農協観光各支店にご依頼下さい。

15 YEAR 日本庭園が米誌ランキングで15年連続日本一に選ばれました

★ ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン 三つ星として掲載されました

■大人1名様/通常2,300円の入館料が1,500円にてご入館いただけます。

(高校生/通常1,000円→700円・小中学生/通常500円→300円) ※ご利用対象はご本人様及びそのご家族とさせていただきます。

大観生誕150年記念

150th Anniversary of Taikan's Birth



横山大観「鶴興而致雲」(部分・昭和12年)

横山大観 VS 日本画の巨匠たち

Yokoyama Taikan VS Great Masters of Japanese Painting

【秋季特別展】2018年 8月31日(金)～11月30日(金)

近代の美術界において、長くその中心として活躍した横山大観は、明治元年(1868)に水戸に生まれました。本年は大観の生誕150年という節目の年です。これを記念して、大観と日本画の巨匠たちが“対決”する特別展を開催いたします。

〈同時開催〉横山大観特別展示室「生誕150年 横山大観の芸術Ⅲ」

新館 再興第103回 院展

会期:2018年10月13日(土)～11月4日(日)

2018年10月11日、12日及び11月5日、6日は新館のみ休館

JR安来駅より無料シャトルバスあり。
ダイヤはホームページでご確認下さい。

<http://www.adachi-museum.or.jp/>



足立美術館
ADACHI MUSEUM OF ART

tour 株式会社農協観光

農協観光 島根支店 ☎0852-26-2600

JAしまねやすぎ旅行センター ☎0854-28-6699

JAしまね雲南旅行センター ☎0854-42-9118

JAしまね出雲旅行センター ☎0853-21-3305

JAしまね斐川旅行センター ☎0853-73-9625

JAしまね石見銀山旅行センター ☎0854-82-3501

[プラン有効期限]2019年3月31日まで

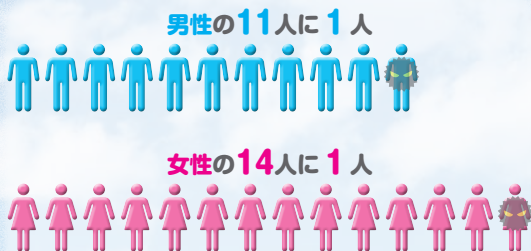
JAしまね島根おち旅行センター ☎0855-83-0008

JAしまねいわみ中央旅行センター ☎0855-22-8820

JAしまね西いわみ旅行センター ☎0856-22-8587

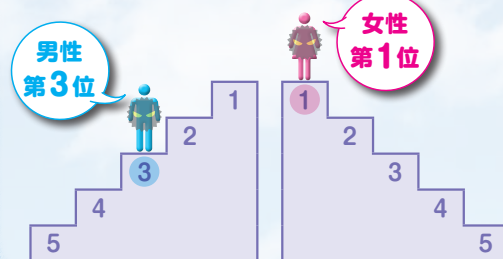
大腸がん検診を受けましょう。

大腸がんは島根県で一番多いがんです。



大腸がんと診断されています

がんでの死亡率



大腸がんは早期に発見して、早期に治療すれば、ほぼ100%治るがんです。ただし早期の大腸がんは、症状がほとんどありません。早期発見のためには、「大腸がん検診」が有効です。

大腸がんの発生が増加する40歳以上の方は年1回、大腸がん検診を受けることをお勧めします。

大腸がん検診の受診は、お住まいの市町村の検診受付窓口までお問い合わせください。

JA島根厚生連

島根産の食材レシピ 《しまねうれしぴ》

料理研究家 土井小百合

ハロウィン風かぼちゃのイタリアンサラダ



●材料（4人分）

かぼちゃ…………… 200g
プロセスチーズ……………30g
マヨネーズ……………大さじ2
香ソルト（ハーブミックス）…………… 小さじ1/2



●作り方

- ①かぼちゃは洗い種を取り、皮付きのまま1cm角に切る。
- ②プロセスチーズは0.5cm角に切る。
- ③ラップにかぼちゃを広げるように並べ、全体をラップで包み電子レンジに4分かけ柔らかくする。（皿の上には乗せない）
- ④ボウルに温かいかぼちゃ、プロセスチーズ、マヨネーズ、香ソルトを入れ混ぜ合わせる。

☆あつという間に出来上がり！電子レンジで加熱することにより水っぽくならずホクホクです。かぼちゃが熱いうちにマヨネーズを混ぜるのがおいしくできあがるポイントです。きゅうり、レーズン、玉葱いろいろな食材を加えてもおいしいです。

秋野菜でチーズダッカルビ



●材料（4人分）

鶏もも肉…………… 2枚	④	豆板醤…………… 小さじ1
玉葱…………… 1/2個		コチュジャン……………大さじ2
キャベツ…………… 4～5枚		しょうゆ… 大さじ1と1/2
しめじ…………… 1袋		ケチャップ……………大さじ1
さつまい芋…………… 1本		みりん……………大さじ1
にら…………… 1袋		にんにく……………ひとかけ
		チーズ…………… 200g

●作り方

- ①鶏もも肉は一口大に切る。
- ②キャベツはザク切り、玉ねぎはくし形切り、しめじは石づきを切りバラバラにする。さつまい芋は厚さ1cmの半月切りにする。にらは5cmに切る。
- ③フライパン（ホットプレート）にごま油をひき、肉を炒め火が通ったら野菜を炒める。
- ④野菜に火が通ったら混ぜ合わせた調味料④を入れ混ぜ、全体にしっかりからめる。
- ⑤具材を寄せて中央を空け、チーズを加えて弱火にし、チーズが溶けるまで火を通す。

ピリ辛の鶏肉と秋野菜をとろ〜りチーズにからめて食べてください。あつあつのチーズと野菜が絶品です。辛さは豆板醤を調整してください。コチュジャンがない場合は赤みそを入れてください。

表紙紹介

表紙のイラストは野々村 直通（ののむらなおみち）先生に描いていただいています。

今月の表紙は隠岐郡海士町の隠岐神社です。後鳥羽天皇崩御700年にあわせて、後鳥羽天皇を祀る神社として昭和14年に創建されました。15,000坪の境内に社殿が並び、春には参道の桜並木を目当てに花見客が訪れます。後鳥羽天皇の行在所跡や御火葬塚などもあり、隠岐観光の名所となっています。

編集後記

本店トピックスでご紹介したバスケット大会へのブース出店は、私もお手伝いで参加しました。スサノオマジックブースターの私は、シーズン開幕前の情報交換で他県チームのブースターさんと盛り上がりました。・・・ブースの仕事もがんばりました。（和）

【今月の表紙の原画】

レイアウトの都合により表紙のイラストは原画の一部表示となっています。原画の全体は次のとおりです。

